

看護部

血液浄化センター

血液浄化センターは感染症患者、重症患者などに対応した個室6床を含む57床からなり、午前透析、午後透析の2クール施行しています。

当施設では、血液透析の他、血漿交換、LDL吸着、PMXなどの特殊療法も実施しています。

血液透析は、血液を体外循環させ、人工腎臓を通り毒素を取り除いた血液を体内へ戻す工程を4時間行います。これには医療スタッフの知識、技術が必用です。

臨床工学技士も含め先輩看護師から新人看護師への指導また新人看護師が透析について勉強した事を先輩看護師、臨床工学技士に発表してもらい知識の向上をはかっています。

血液浄化センター防災訓練も実施し、透析中に自己抜針し避難する方法などを取り入れ患者さんとその家族を含めた避難訓練を実施しました。また、UPS（無停電装置）も設置されており災害に強い血液浄化センターです。

透析患者さんも高齢化し今まで以上に安全管理が求められます、医療スタッフが協力しより安全な医療、看護を提供していく必要があると思います。

実績

1. 山下昭二

- 6月21日／22日 第58回日本透析医学会 発表
- 11月30日 神奈川県看護学会発表

2. 坊坂桂子

- 4月21日 血液浄化技術学会 発表
- 6月21日／22日 第58回日本透析医学会 発表

3. 愛甲美穂

- 6月21日／22日 第58回日本透析医学会学術集会 発表
- 9月26日 第7回さいたま足病治療研究会にて講演
- 10月12日 第10回日本フットケア学会鎌倉セミナーにて講演
- 11月9日 第6回山梨透析フットケア研究会にて講演
- 11月28日 第22回北摂陣不全カンファレンスにて講演